

教育評価アンケートのまとめ

常滑市立南陵中学校

お忙しい中、「教育評価アンケート」にご協力をいただきありがとうございました。

今回のアンケートは、昨年度との比較をするために内容項目を変えないで行いました。また、新たに南陵中学校区の3つの小学校と連携して行っている小中接続事業の効果を確かめるための質問を追加しました。

生徒、保護者の結果からは、ほとんど全ての質問に対して昨年度よりよい評価を得ることができており一定の成果が表れたものと考えます。ただし、「あまり当てはまらない」と答えた割合が目立つ「分かりやすい授業への取組」や「いじめをなくすための取組」については、授業力を向上させるための校内研修やいじめアンケートをもとにした教育相談を充実させることで教員一人一人のスキルアップを図り対応します。

教員対象のアンケートからは、道徳・学級活動の充実を始め、指導を充実・徹底させるべき項目が明らかになりました。来年度の学校教育の重点努力目標に組み込み、教員の意識を高め、学習指導部を中心に具体策を検討していくかと思います。

三者比較からは、教員が生徒に対してどのように支援・指導し、生徒がそれをどう受け止め、生徒の様子・変容を保護者がどう感じているかを判断しました。学校や教員が前述したような対応を図ることとともに、保護者や地域にも学校で行っていることがより効果的に伝わるように、「見える」「魅せる」教育を心がけていきます。

今年度から始まった南陵地区小中学校で共通の学習規律アンケートからは、初年度ということもあり教員にも生徒にも十分意識されていないことが明確になりました。児童・生徒にとって生涯にわたって大きく影響を与える大切なことを、9年間をかけて身に付けさせることが目的で始まった取組です。まず、教員がしっかりととした共通認識をもち、継続することで効果を上げていきたいと思います。

また、学校評議員の皆様からは、保護者に学校の指導の様子や生徒の変容をうまく伝え、評価を得る努力の必要性や安全な上下校に向けての指導の強化についてのご意見をいただきました。また、祭礼や地域ボランティアへの積極的な参加を通じて、地域の力を学校教育に役立てていくこと、地域の声が学校に届く手立てを考えることの重要性について話し合いをしました。

今回も保護者の皆様からは貴重なご意見や励ましの言葉をいただき、感謝するとともに今後検討すべき課題が明確になりました。生徒たちのために、来年度の学校経営に生かしていきます。